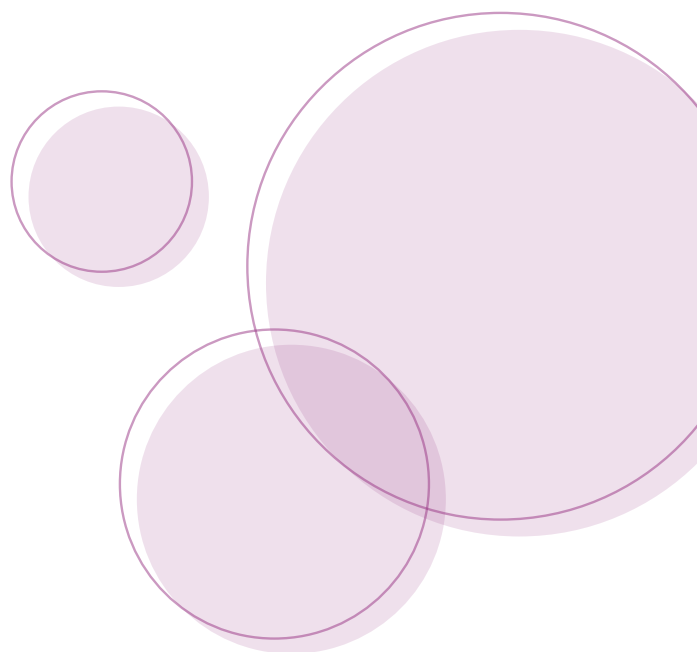


第3章

長期的展望

- 1 基本理念
- 2 期待される本県の将来展望
(2030 (平成42) 年ごろ)



1 基本理念

(1) 目指すべき地域社会

現在、本県は、地域経済や県民生活等にかかわる様々な課題への対応が求められています。前章において、これら様々な課題を本県が取り組むべき課題として6つに整理しましたが、これら6つの課題はそれぞれに独立したものではなく、相互に関連し合っています。

中でも、「人口減少」の問題は、将来のやまなしを考える上で最も重要な課題であり、強い意志を持って、これを食い止め、地域の活力を維持・向上させていく取り組みを総合的に展開していくことにより、様々な課題解決の好循環が生まれ、明るい未来に向けたダイナミックな流れが実現されていくものと考えられます。

そのためには、一つの大きな目標＝ビジョンを明確にし、県民と気持ちをあわせ一体となって取り組んでいくことが必要です。

本計画では、リニア中央新幹線が東京・大阪間で整備され、県内にその直接的、若しくは反射的な効果が概ね行きわたることが見込まれる今世紀の後半ごろを念頭に、本県が目指すべき新たな地域社会を、永遠にその輝きが変わることのないプラチナのごとく光る価値を世界に発信し、すべての県民が明るく希望に満ち安心して暮らせる『輝き あんしん プラチナ社会』とします。

『輝き あんしん プラチナ社会』においては、多様な産業の連携・協働を基調とする活発な経済活動を通じて、県民に安定的な雇用が提供され、併せて、県民生活を支える様々なサービスの提供体制や快適な生活環境がバランス良く整備されています。

そうした中で、若者世代をはじめとする県民の県内への定住志向が強まり、一人ひとりが夢や希望に向かって輝き、生き生きとした暮らしが繰り広げられるとともに、地域の持つ数々の魅力が「豊かさ」を提供する新たな価値として広く発信され、国内外から訪れた多くの人々による活動や交流が盛んに行われています。

『輝き あんしん プラチナ社会』を実現していくことにより、本県を舞台に展開される人々の暮らしや交流、経済活動が拡大し、これが更に地域を活性化させる好循環を生み、本県は、一つの自立した地域として輝きを放ち続けることができます。

このように、本県への定住をはじめ、二地域居住や観光など多様な形で本県とつながりを持つ人々の活発な営み（共生・連携）に支えられ、発展を続ける本県の未来の姿（県土像）を『100万人都市・やまなし』とし、県民と共有しながら、新たな地域づくりに挑戦していきます。



(2) 新たな地域づくりの基本戦略

これからの本県における新たな地域づくりを考えるときに、急激に変化している社会経済情勢に的確に対応し、本県が持っている様々な地域資源を活用し、発展に向けたポテンシャルを最大限に発揮していくことが重要です。

本計画においては、前章で整理・分析したとおり、いくつかの大きな転機に直面している本県の現状等を踏まえ、以下に掲げる「エネルギー供給力」、「景観・農業力」、「安心・防災力」をこれからのやまなしを支える力と捉え、県民とともに本県が取り組むべき課題への対応を図り、3つの力を高めていくことにより、すべての県民が明るく希望に満ち安心して暮らせる『輝き あんしん プラチナ社会』を創り上げていくことを基本戦略とします。

こうした基本戦略に基づき、地域の持つ様々な地域資源を生かしながら、発展に向けたポテンシャルを最大限に発揮し、地域が抱える諸課題の解決に向け行われる地域づくりを「ダイナミックやまなし」とし、県民総参加による取り組みを積極的に進めていくこととします。

やまなしを支える力 1 エネルギー供給力

エネルギー供給力は、地域経済の原動力となる力です。

かつて、本県は豊富な水力で発電した電力を県外へ移出していましたが、電力需要の拡大とともに移入に転じました。しかし、東日本大震災を機にエネルギー供給に関する課題が顕在化し、分散型エネルギーへの関心が高まるなど、今後のエネルギーをどのように確保し、効率的に利用していくかが重要になっています。

本県には、従来の水力発電に加えて、全国有数の日照時間を生かした太陽光や豊かな森林資源を活用した木質バイオマスなど、地域においてエネルギーとして活用できる様々な資源があり、また、燃料電池技術など新たな技術を組み合わせることで更に環境負荷が少なく効率的な発電や熱利用が可能な天然ガスのパイプラインが通っています。

こうした地域資源を活用して、県内におけるエネルギー供給力を強化し、安価で安定的なエネルギー供給を確保していくことにより、活力ある地域経済や生き生きとした県民生活の実現につなげていくことができます。

やまなしを支える力 2 景観・農業力

景観・農業力は、地域の魅力の源泉となる力です。

社会・経済のグローバル化や少子高齢化が進行する中、農業の担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の拡大、これに伴う景観への影響など、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。

本県では、主力農産物である果樹を中心に、農家や農業団体等の努力により高品質化や新品種開発などの取り組みが進められ、フルーツ王国としての地位が維持されています。加えて、近年、国際的にも評価が高まりつつある甲州ワインを核としたワインツーリズムなどに代表されるように、農業と地場産業、観光など、様々な産業や地域資源の連携を図り、強化することにより、新たな製品や新たなビジネスが生まれ、雇用が創出されることが期待されます。

こうした取り組みを多方面にわたり積極的に展開していくことにより、農業をはじめ本県における個性豊かな地域産業を、将来にわたり維持・発展させるとともに、人々を惹き付ける美しい農村景観の維持・向上や新たな価値の創造など、本県の魅力を高めることができます。

やまなしを支える力 3 安心・防災力

安心・防災力は、暮らしや経済活動を守る力です。

東日本大震災という数百年に一度の災害を経験したことで、災害発生時の対応の必要性が強く意識されるようになりました。また、少子化に伴う人口減少・超高齢社会の到来により、その克服に向け新たな地域社会を創造する必要性に迫られています。

本県では、信玄堤をはじめ、古くから釜無川や笛吹川の氾濫原となってきた甲府盆地を中心に、水との戦いを中心とした防災対策が営まれてきました。また、今後は、中部横断自動車道の開通やリニア中央新幹線の整備などの交通網の充実による利便性の一層の向上が見込まれます。更に、核家族化の進展等により全国的に地域における人間関係が希薄化する中、本県では無尽の仕組みや活発なボランティア活動などに代表されるように、人々をつなぎ支えるネットワークが維持されています。

将来にわたり想定される自然災害等への備えを着実に進めるとともに、地域や企業、行政などが一体となって、教育や子育て、医療・福祉などをバランス良く充実させていくことにより、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進めていくことができます。



(3) 政策展開の考え方

基本戦略による地域づくり「ダイナミックやまなし」を実践するに当たり、本県が解決すべき課題を踏まえ、次のとおり6つの方向から取り組みを進めることとし、それぞれの取り組みを「ダイナミックやまなしプロジェクト」として政策展開の柱とします。

取り組みの方向 ① 人口減少による負のスパイラルの克服

人口減少による負のスパイラルを断ち切り、好循環へと反転させていくため、県が積極的に触媒の役割を果たし、多様な主体の連携協働の強化を図りながら、地方創生の取り組みを強力に推進します。

➡ プロジェクト1：やまなし創生推進プロジェクト

取り組みの方向 ② 本県経済と雇用を支える基幹産業の発展

新たな地域づくりを行っていく上で必要不可欠となる経済基盤の強化に向けて、エネルギー・人材供給力の増強や本県の特長を生かした新産業の創出などにより、基幹産業の維持・発展、裾野の拡大を図ります。

➡ プロジェクト2：基幹産業発展・創造プロジェクト

取り組みの方向 ③ 地域資源を生かした個性豊かな産業の創出

県内における活力ある地域づくりを進めるため、農林水産業と加工業、観光業等の産業間や、県内の地域間、産学官金など様々な連携を強化し、個性豊かで、儲かる地域産業の創出を図ります。

➡ プロジェクト3：地域産業元気創造プロジェクト

取り組みの方向 ④ 明日のやまなしを担う子ども・子育て支援の充実

将来のやまなしを担う人材を育成していくため、誰もが子どもを産み育てたいとすることができる子育て環境、主体的な学びを中心とした教育環境の整備を図ります。

➡ プロジェクト4：まなび・子育て環境創造プロジェクト

取り組みの方向 ⑤ 生涯にわたり健康で生き生きと暮らせる地域づくり

人生90年時代に対応し、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりや県民医療の充実、学び直しと活躍機会の創出を図ります。また、豊かな自然環境を生かし、大都市圏住民に魅力のある豊かなライフ・ワークスタイルを創出します。

➡ **プロジェクト5：健やか・快適環境創造プロジェクト**

取り組みの方向 ⑥ 地域の暮らしと企業活動を守り、**交流を促進する基盤づくり**

自然災害の頻発や公共交通の弱体化等の状況に対応し、災害時にも企業活動と日常生活を維持できる社会インフラの整備、地域における公共交通ネットワークの強化など、安全安心・交流の基盤づくりに取り組みます。

➡ **プロジェクト6：安全安心・交流基盤創造プロジェクト**



2 期待される本県の将来展望(2030(平成42)年ごろ)

現在、わが国では東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020(平成32)年に向けて、地方自治体、民間企業を問わず、様々な需要を成長・発展の原動力として取り入れるべく、熾烈な競争が繰り広げられています。

同時に、大手の上場企業の多くが、東京オリンピック・パラリンピック以後の経済状況を想定した経営戦略の検討を始める動きも見られます。

このため、本県では、前記の6つの「ダイナミックやまなしプロジェクト」の取り組みを通じて、「エネルギー供給力」、「景観・農業力」、「安心・防災力」の「3つの力」を高めていくことにより、2020(平成32)年までに本県が再生し、持続的に発展していくための様々な基盤を整備していく必要があります。

こうした基盤に支えられ、引き続き、地域における産業・経済の持続的な発展と県民生活の質の向上に取り組んでいくことにより、リニア中央新幹線開業後の2030(平成42)年頃には、次のような地域づくりが進展していることが期待されます。

結婚、出産、子育て、教育、雇用など安定した人口構造の維持に必要な環境整備が進むとともに、国内外から本県を訪れる多くの人々が繰り広げる活発な交流・活動の拡大と相まって、発展を続ける本県の姿が展望されます。

(1) 産業

活発な産業活動が本県経済を持続的に発展させ、良質な雇用を生み出し、県民の安定した生活を支えています。また、本県の魅力が国内外に発信され、本県を舞台に交流・活動が活発に繰り広げられています。

■ 基幹産業

本県は、安価で安定的な電力供給と企業のニーズや時代の情勢に合った即戦力となる人材の育成・確保が行われています。このような企業にとって魅力あふれる環境整備の充実により、製造業では、燃料電池や医療機器等の成長分野への進出など機械電子産業が発展しています。

また、リニア中央新幹線開業により、東京圏、中京圏とのアクセスが飛躍的に向上し、各種研究機関などの本県への移転・進出が進み、最先端の研究成果を求めて、スマート工業団地などに先端技術関連産業の集積と様々な業種の企業立地が進んでいます。

更に、東京圏と中京圏の中間に位置する立地条件を生かし、IT系の若手経営者が本県を拠点に起業・活動するなど情報通信関連産業の振興や高速道路沿線への物流施設の進出など、良質な雇用が創出されています。

■ 地場産業

地場産業では、優れた伝統技術を受け継ぎながら、新しい技術を取り入れるとともに時代のトレンドをいち早く的確に捉える人材が育成されることにより、個性豊かな製品が開発され、その高い技術力・デザイン力は国内外から注目を集めています。

また、ジュエリー、ワイン、織物をはじめ、印伝、和紙などは、国内外の展示会への出展等を通じて高品質が評価され、「やまなしブランド」として浸透するとともに、産地としてのやまなしの知名度が向上し、国内はもとより海外で安定した取引が行われています。

特に、ジュエリーや織物では、発展著しい中国や東南アジアでの販路の確立、取引の拡大が進み、ワインでは、ヨーロッパでの継続したプロモーション効果により、国内はもとより海外からの観光客を取り込んだワイナリー巡りなど、観光面からも本県の活性化に寄与しています。

■ 農業・水産業

農業では、やまなしブランドの知名度の向上とオリジナル品種の普及が相まって、国内だけでなく海外でも県産農産物の販売量が増加し、農業生産額も増えています。

また、アジア地域の常設の販売・情報発信拠点では、ももやぶどうなど四季折々の農産物をはじめワインなど地場産品の魅力が発信され、やまなしの知名度の向上と海外における販路拡大が進んでいます。

それに加えて、観光との連携や、6次産業化による新たな特産品の開発、農地の集約化や再生可能エネルギーの活用、技術開発による低コスト化などにより収益性の高い農業が展開され、就農者も増えています。

更に、豊富な水資源を活用したマス類をはじめとする新たな県産ブランド魚の開発とともに、トラフグなど高級魚の陸上養殖の取り組みが進み、旅館や飲食業などとのタイアップにより、新たな特産品として人気を呼んでいます。

■ 林業

林業では、CLT工法※1など新たな技術の導入や県産FSC認証材※2の普及などによる県産材の需要拡大、間伐材や製材後に発生する端材などのエネルギー源としての有効活用など多様な木材利用が進むとともに、森林施業の集約化、路網の整備、林業機械の導入などにより生産性が向上し、持続可能な林業経営が展開され、地域を支える産業として発展しています。

また、林業経営により適切に管理された森林は、多面的機能が保全・強化され、観光・レクリエーションの場として多くの人々が訪れています。

※1 CLT工法：挽板（ラミナ）を板の方向が直交するように重ねて接着したパネルを構造材に用いた工法

※2 FSC認証材：適切な管理を国際的に認められた森林から生産される木材



■商業・中心市街地

県内各地の商店街では、専門知識を持った店員が消費者のニーズに合ったきめ細かな情報を提供するなど、郊外の大型店とは異なる、個性や特色のある商品・サービスを提供する商店が増え、活気を取り戻し、多くの人々が買い物を楽しんでいます。

また、高齢者等のための宅配サービスや移動販売の実施、更には地域の各種イベントの実施やギャラリーの開設など、商店街は地域の人々の生活や文化を支える拠点へ発展しています。

■観光関連産業

世界遺産富士山や南アルプスなどの雄大な山並み、桃源郷などの美しい景観、走行風景が見られるリニア中央新幹線、各地に点在する歴史的な神社仏閣、ワインやフルーツなどの特産品、県民の温かなおもてなしなど豊かな観光資源の魅力に惹かれて、国内外から多くの人々が来県し、県内各地を巡る滞在型の観光が拡大しています。

また、豊かな自然環境の中で、農村の遊休農地を活用した農業体験など、恵まれた地域資源を活用した体験型観光を多くの人々が楽しむとともに、観光スポットを周遊できるサイクリングコースの整備などが進み、国内外の観光客が安心して自転車を楽しめる環境が充実しています。

更に、外国語による案内の拡充・強化や、無料公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備、通訳ガイドの活用など、外国人が安心して快適に旅行できる環境整備が進んでいます。

このように様々な地域資源を生かした県内観光の発展に伴い、ホテル・旅館業や運輸業などが活性化するとともに、観光客が購入・消費する商品やサービスが大きく増大することにより、流通業や食品加工業、更には農業や商店街などに幅広く経済効果が波及し、県民の雇用の場も拡大しています。



(2) 県民生活

県民は、互いに人格と個性を尊重し支え合いながら、生き生きと心豊かに暮らしています。一人ひとりが、個性や持てる力を発揮して多様な自己実現を果たし、同時に、必要なときには、温かい心遣いや支援が受けられる環境が整っています。また、地域と企業、行政等が連携した取り組みにより、子育てや教育を巡る環境の充実が図られ、明日のやまなしを担う子どもたちが健やかに育てられています。

健康医療

県民は、食事や運動などの生活習慣の見直しなど日頃から健康づくりに努めており、慢性腎臓病や肝炎等の予防、がん対策などが総合的に進められ、生き生きと暮らしています。

また、医師や看護職員がバランス良く確保されるなど地域の実情に合った医療提供体制の整備が進み、軽症患者から重症・重篤な患者まで、症状に応じた適切な医療が県民に提供されています。

更に、先進的な高度医療を身近な場所で受けられる環境整備が進み、安全で質の高い医療の提供につながっています。

高齢者福祉

福祉や介護人材が確保されるなど福祉・介護サービスの基盤が整えられ、医療・介護・予防などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が各地域で進んでいます。

認知症については、正しい理解と地域の見守り体制の整備が進むとともに、予防への取り組みや早期診断、支援・相談体制などが充実しています。このように、高齢者は住み慣れた地域で、様々な人に支えられながら、安心して生活しています。

また、生涯にわたり学び直しができる学習環境の整備と多様な就労機会の提供が進み、農業をはじめ、ソーシャルビジネスなど様々な分野に、高齢者の活躍の場が広がっています。更に、高齢者の専門的知識や経験が地元企業の発展に活かされるなど、高齢者も地域の経済活動に積極的に参画しています。

障害者福祉

障害を理由とするあらゆる差別の解消に向け、障害者施策が総合的かつ計画的に実施されており、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の形成が進んでいます。

障害者は自らの能力を最大限発揮して社会に進出し、障害のない人と共に学び共に働く中で、更に自らの力を高め自立した生活を送っています。また、芸術活動やスポーツなどにも参加して大勢の人と交流しながら地域で生き生きと暮らしています。



■子育て

地域全体で子育てを見守り応援する気運の醸成が進み、多様なサービスが提供され、子どもを持つ親などの不安や悩みが軽減されています。また、子育てにやさしい企業が増加するとともに多様な保育ニーズ等への対応が進み、育児休暇や短時間勤務、認定こども園などを使いながら夫婦が協力して子育てを行うなど、誰もが安心して子どもを産み、育てることができる社会づくりが進展しています。

■教育

県内各地で、保護者・教師・住民が一体となって教育の充実に取り組み、子どもたちは地域に愛着を持ち、将来の地域を担う人材として育っています。

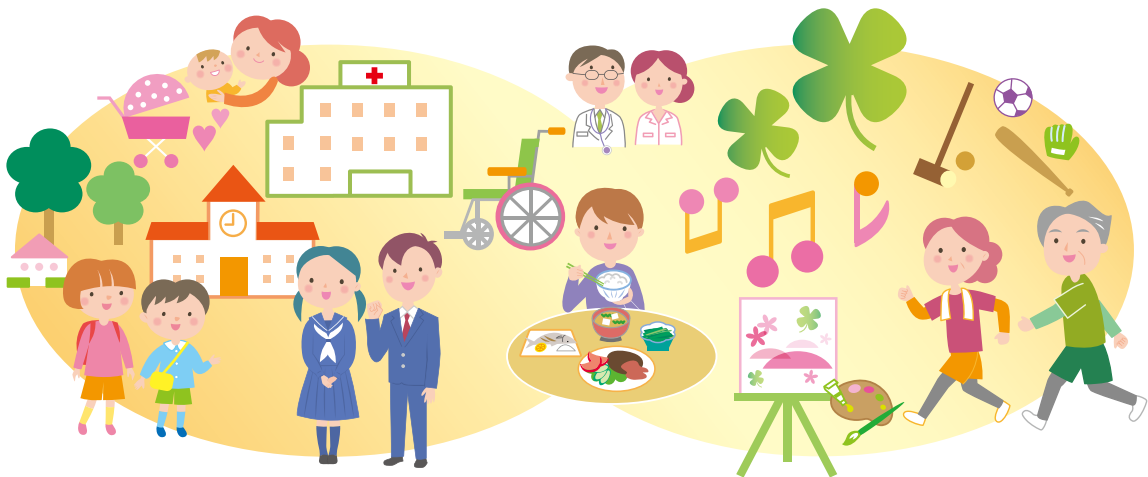
小中学校では、少人数教育によるきめ細かな指導が浸透し、いじめや不登校等へのサポートの充実が図られるとともに、児童生徒は補習的な学習支援や効果的な授業改善などにより、自ら学習に取り組み、確かな学力を身につけています。また、家庭・地域と連携した道徳教育の推進により、豊かでしなやかな心が育成されています。

高等学校においては、個性と魅力を備えた活力ある高校づくりが展開されています。また、体験的な活動や課題解決型の学習、企業実習や専門家による実践的学習など様々な学習機会を通じて、社会的に自立する力が育まれ、グローバル化や技術の高度化など急速に変化する社会情勢に対応できる人材が育成されています。

■スポーツと文化

行政、スポーツ関係団体、学校、地域等の連携・協働によるスポーツ機会の充実と全国トップレベルの選手との交流など、身近にスポーツに親しむ環境の整備が進み、県民のライフステージに応じた健康の保持増進と地域社会の活性化につながっています。

また、県民の芸術文化活動への参加促進、県内文化施設等の企画展・特別展の充実など、芸術文化が薫る地域づくりが進められています。更に、先人が守り伝えてきた地域の「たから」である文化財は、確実に次世代へ継承されるよう、適切に保存・活用されています。



(3) 社会基盤

県内外を結ぶ交通ネットワークの整備により、活動圏域の拡大や、地域間の連携の強化、物流の効率化が進むなど経済活動が活発化しているとともに、大規模災害時には、避難路、緊急輸送路となり県民の安全・安心な暮らしを支えています。

また、県民の間に広く省エネルギー対策が浸透するとともに、エネルギーマネジメントと組み合わせた分散型エネルギーシステムの導入により効率的なエネルギー利用が図られ、スマートな省エネルギー社会づくりが進んでいます。

交通基盤

東京・名古屋間で2027（平成39）年に開業したリニア中央新幹線や、中央自動車道、中部横断自動車道、新山梨環状道路などの県内外を結ぶ道路ネットワークを通じ、ヒトやモノが活発に移動・交流し、地域に活力を与えています。

また、リニア中央新幹線により東京圏、中京圏へのアクセス性が飛躍的に向上し、リニア駅の周辺には豊かな自然環境など、山梨らしさを最大限に生かしたリニア環境未来都市が整備されるとともに、ここを中心として県内各地から東京圏、中京圏へ通勤・通学するなど、良好な景観や快適な環境などのやまなしの魅力と、大都市の利便性の双方を積極的に享受する新たな暮らし方、働き方が展開しています。

それに加えて、リニア駅と甲府駅を結ぶ新たな交通システムや県内に張り巡らされたバス交通ネットワークでは、環境にやさしい燃料電池バスの普及が進み、地域住民や観光客の足となり、スムーズな移動を可能にしています。

安全・安心を支える基盤

地震、火山噴火、土砂災害などに対する防災・減災施設や災害時には県民の「命の道」となる道路ネットワークの整備が進んでいます。

また、行政から防災に関する情報が迅速かつ確実に提供される体制が整備されるとともに、日頃から大規模災害を想定した防災訓練の県内各地での実施や地域における防災啓発活動の中心となる地域防災リーダーの養成などにより、いざという時には住民同士が支え合い、困難を乗り越える態勢が整っています。

また、エネルギー供給や情報通信等に関する各種インフラの確保、道の駅等を活用した防災拠点の充実強化などにより、大規模災害発生時においても、最小限の県民生活や経済活動が維持され、迅速な応急復旧活動を行うことができる体制の整備が進んでいます。

エネルギー

燃料電池を活用した高効率発電システムや、自然環境や景観と調和した太陽光、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入がバランス良く進み、県内企業等に安価で安定したエネルギーの供給が進んでいます。

また、再生可能エネルギーで発電された電力の一部は水素に変換され、燃料電池自動車等に活用されるなど、エネルギー供給の多様化が確保された新しい自立・分散型エネルギー社会の構築が進んでいます。



ダイナミックやまなし総合計画 概念図

目指すべき地域社会 『輝き あんしん プラチナ社会』

〈未来の姿〉 生き生きとした暮らし、活発な活動と交流の舞台

■ 100万人都市・やまなし ■

地域経済の活性化

安定的な雇用の創出

暮らしやすさの向上

県民総参加による新たな地域づくり
《ダイナミックやまなし》

1 やまなし創生
推進
プロジェクト

4 まなび・子育て
環境創造
プロジェクト

2 基幹産業
発展・創造
プロジェクト

5 健やか・快適
環境創造
プロジェクト

3 地域産業
元気創造
プロジェクト

6 安全安心・交流
基盤創造
プロジェクト

エネルギー供給力

〈価値と安心感の源泉〉
やまなしを支える
3つの力

景観・農業力

安心・防災力

東京圏に近接する
立地条件

魅力的な自然環境
豊かな地域資源

リニア中央新幹線等による
アクセス性の飛躍的向上